

支援ノウハウ、ネットワークを活用した丁寧な海外展開支援

事業者	支援機関
株式会社エムズテクノロジー	中小機構近畿本部

企業の概要

兵庫県尼崎市でプリント基板設計等を行う平成11年創業の電子機器設計会社。高度なデザイン業務から伝送線路シミュレーション解析等の検証分野まで幅広い技術力を強みに成長。更なる発展のためホーチミン（ベトナム）に進出、現地の若手人材が支えている。

支援の概要

◆ 支援の経緯

自社の下調べでベトナム進出を決めてはいたものの、実際の進出先の検討、必要な事務手続き、費用等の確認をするべく現地調査を行うため、中小機構近畿本部（以下「機構」）の海外F/S（事業化可能性調査）支援事業に応募した。

◆ 経営課題へのアプローチ

①調査地の選定

ダナンとホーチミンが進出候補地であり、ダナンは自社で既に調査を進めていたことから、ホーチミンをF/S支援事業の調査地として選定。両都市の費用や条件を比較の上で、進出先を絞り込むこととした。

②現地調査事項の抽出・整理

現地調査で確認したい事項をベトナム事情に精通する機構専門家、職員が丁寧にヒアリングし、調査事項を抽出、整理した。

③現地調査先、訪問先の選定、日程調整

専門家を中心に機構が現地に有するネットワーク、既進出企業とのパイプを最大限に活用して調査先、訪問先を選定、綿密な日程調整を行い、現地調査に臨むこととした。

④現地人材の確保

進出のカギとしていた人材の確保については、人材紹介会社を通じて現地調査時に候補者の面接をセット。日本語に堪能で優秀な現地女性スタッフの採用に繋げることが出来、以降の現地人材の採用、教育に大きな成果をもたらすこととなった。

◆ 支援成果

①現地会計事務所や既進出企業へのヒアリング等も通じて調査事項を確認。費用、条件を比較の上でホーチミンを進出先として決定。

②現地人材の確保、事業ライセンス（営業許可）を短期間で取得することも出来、平成26年12月に駐在事務所を設立（F/S支援事業から4ヵ月後）。

③現地事務所は新たなプリント基板の設計拠点として、ベトナムでのオフショア開発の受注も開始、事業の発展に繋がる。

注目ポイント

◆ 丁寧なヒアリングによる調査事項の抽出、整理

期間が限られたF/S支援事業では、調査項目を抽出、整理しておくことが重要であり、そのためのヒアリングを現地事情に精通する専門家、職員が丁寧に実施。

◆ 支援ノウハウ、現地ネットワークを活用した現地調査の実施、海外展開アドバイス

機構ではこれまで496件（平成27年度末時点）のF/S支援事業を実施。それにより培われた支援ノウハウ、現地ネットワークを活用して現地調査を支援。また、多くの海外展開支援経験に基づいた的確なアドバイスを行っている。